



立科町議会議長
滝沢 寿美雄

New year 2014

新春を

明けましておめでとうございます。
町民の皆様におかれましては、希望に満ちた輝かしい新春を迎えられましたこととお慶び申し上げますとともに、日頃から議会活動に対する深いご理解とご支援をいただき、心より感謝申し上げます。議会も新しい年を迎え、立科町の更なる発展の為に、引き続き努力をして参りたいと決意を新たにしております。

是非本番では、思い切り「おもてなし」をしたいですね。
昨年は、議会改革の一つとして初めての予算特別委員会を設け、議員全員で予算の審議を行いました。議員が自分の所管だけではなく、全体を通して把握していると言う事で成果が上がったのではないのでしょうか。今後も続けたいと思っております。

条例の策定で有ります。町民の皆様によりしっかり説明責任を果たしながら、拙速にならないようにしっかり進めて参りたいと考えております。
終わりに、今年一年が立科町にとりまして、素晴らしい年でありますと同時に、町民の皆様のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げ、新年のあいさついたします。

色々不透明な状況が続く中、昨年は天候がいつもの年とは違い、大変不順な天候が続きました。春先の低温気候、夏には近年にない猛暑、そして、大きな台風が立科町にも少なからず被害をもたらしました。やはり地球が悲鳴をあげてきているのではないかと感じてなりません。確か政府は、環境に優しいこれからのエネルギーは原子力だと言っていました。あの状態です。何を信じたらいいいのか分からなくなっているのが、今の現状ではないでしょうか。確実に言えるのは、手遅れにならないうちに、エネルギーの代替え策を早く見つけなければならぬと言う事です。
昨年、東京オリンピックが2020年に決まり、面白い話題を提供してくれました。

議会での役割としては、重要案件の議決、行政活動のチェック、そして様々な政策提言があります。いずれも大切な機能ですが、まだまだ町民の皆様のご意見を、政策提言に反映をしていく事にながっております。その中でも少子高齢化は益々進行しており、今後の重要事項と考えており、結婚、子育て、教育、福祉の充実向上、産業振興等、総合的に行政に政策提言を行ってまいりたいと思っております。
常日頃から、町民の意思を把握する事は当然の事でありまして、今後ますます道州制、地方分権に向け進む事は間違いありませんので、議員一同しっかりその事に目を向け、地域の事は地域が決める仕組みづくりに向け、頑張っていく所存であります。

その為にも、議会がやらなければならない事をしっかり打ちだし、町民の皆様が話題になり、世界中から注目を集めました。

